



最近話題となった 日本からの 新種、珍種、新発見



- 主催 ● 国立科学博物館
- 協力 ● 日本分類学会連合
- 開催期間 ● 2019年1月8日(火)～1月27日(日)
休館日：毎週月曜日
- 開催場所 ● 国立科学博物館(東京・上野公園)
地球館1階「地球の多様な生き物たち」系統広場側
- 開館時間 ● 午前9時～午後5時(金・土曜日は午後8時まで)
*入館は各閉館時刻の30分前まで
- 入館料 ● 一般・大学生：620円 / 高校生以下および65歳以上：無料

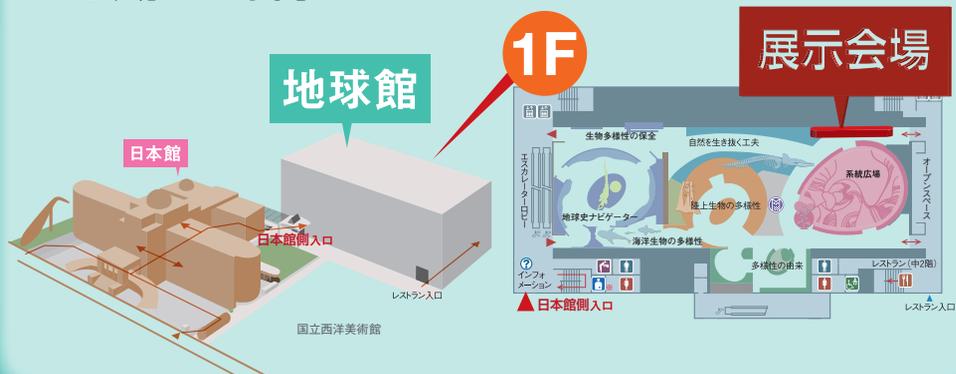
● 関連イベント情報 ●

2019年1月12日(土) 13:30～
公開シンポジウム
「最近話題となった日本からの
新種、珍種、新発見」
主催：日本分類学会連合
共催：国立科学博物館
会場：日本館2階講堂

詳しくは、
<http://www.ujssb.org/>
をご覧ください。



● 会場のご案内 ●



新種、珍種、新発見

「世界の新種トップ10」に選ばれたアマミホシゾラフグ(2015年)やオモトソウ(2018年)の他、日本から最近発見され科学情報誌などで取り上げられた話題の新種や珍種などを実物標本とパネル解説、そして関連資料などで紹介します。



2015年新種 TOP10

(写真提供:大方洋二)

海底に“ミステリーサークル”をつくる
アマミホシゾラフグ



2018年新種 TOP10

(写真提供:杉本嵩臣)

キノコを食べる植物
オモトソウ



(写真提供:末次健司)

カマドウマがタネを運ぶ
ギンリョウソウ



珍菌賞から

セミに刺さった無数の針のようなカビ
セミハリセンボン



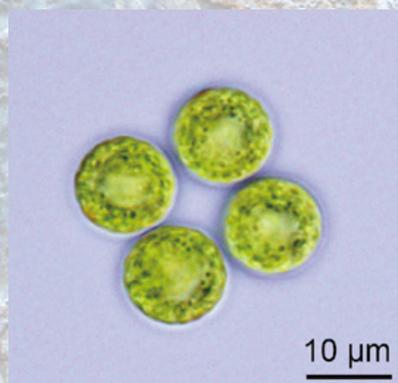
(写真提供:大森紹仁)

口と腸しかない新種の動物
Xenoturbella japonica



(写真提供:伊勢優史)

カイメンの衣を纏う!
テンプライソギンチャク



10 μm

(写真提供:野崎久義)

世界最小の多細胞生物
“しあわせ藻”

(シアワセモはパネル解説のみ)

 国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

金・土曜日9:00~20:00(入館は19:30まで)

※特別展等の開催期間中は延長することがあります。

休館日

毎週月曜日(日・月曜日が祝日・休日の場合は火曜日)

年末年始(12月28日~1月1日)、くん蒸期間(6月下旬)

※特別展等により変更することがあります。

お問合せ

ハローダイヤル 03-5777-8600

<http://www.kahaku.go.jp>

住所:〒110-8718東京都台東区上野公園7-20



交通のご案内

- JR「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
 - 京成電鉄「上野駅」から徒歩10分
- (当館には駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください。)